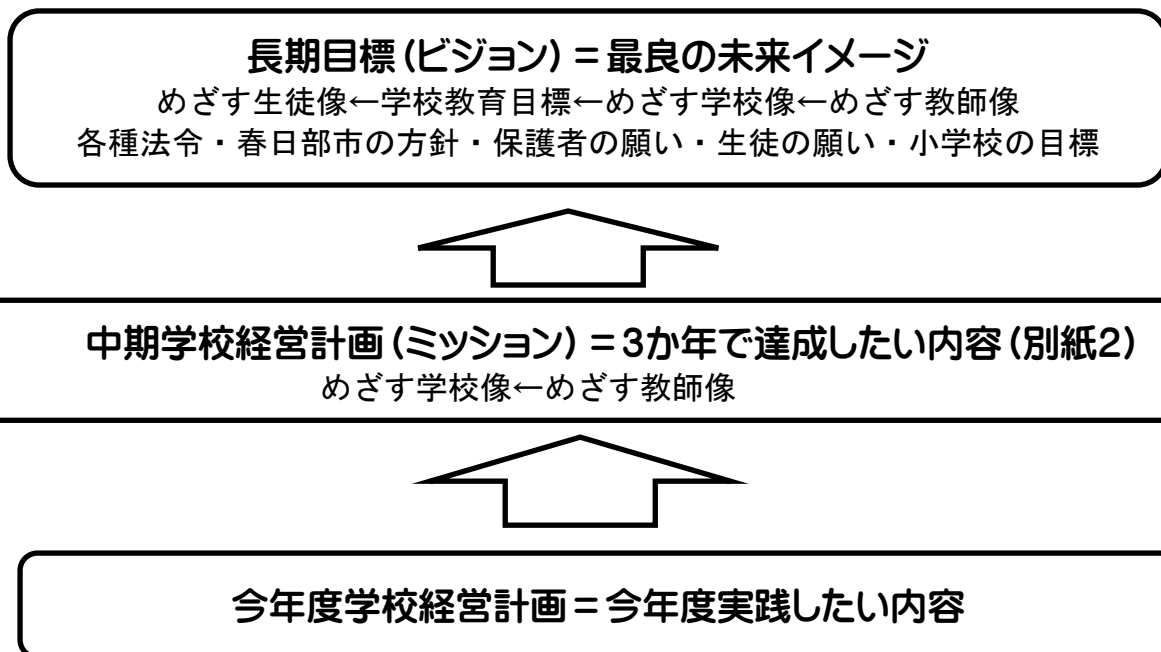


3 今年度 (H31年度・令和元年度) の学校経営方針 (別紙3)

(1) 学校経営方針及び経営計画の全体像



(2) 経営理念

- ① 長期目標 (ビジョン) を念頭に置きながら、中期学校経営計画 (ミッション) をここ3か年の目標としてとらえ、今年度の経営方針の具体的な取り組みを実施する。今年度は中期計画の最終年度です。
- ② 今年度中に実践したい教育活動の内容を明確にして、それらを解決するための具体的な取り組みを各教科領域の全体計画・年間指導計画、シラバス等に入れ込み、ひとつひとつを確実に実践していく。また、その都度評価し、次年度の実施計画を作成しておく。

(3) 経営方針 (合言葉として=生徒たちにつたえる言葉として)

- ① 60年目に向けたサード・ステップの年度
「トライ&チャレンジ東中58」(様々なことを実行する東中) です。
- ② 58年目として次のことを意識しよう。
「様々なことを実行する」とは、
ア 「あいさつ」と「笑顔」を大切にすることを続けます。
イ 新しい時代に向けて、新しい考え方を学びます。
ウ 実行しなければ、何も始まらないことを意識します。

③ 毎月の目標や意識したいことを、常に考えて生活しましょう。

各月に意識したいことは次のことです。

月	意識したいこと
4月	4月は「希望」の月です。4月は夢を確かめる月です。4月は志を抱く月です。希望や夢や志は目的や目標になり、そして、課題となって、やがて現実になります。4月はその出発の月です。責任とは、夢から始まる生き方であると、だれかが言いました。すべての責任は夢から始まります。In dream begin the responsibilities. みなさんの夢を応援します。これが4月という月です。
5月	5月は「協力」の月です。協力は、あいさつから始まります。協力は、お互いの声かけで育ちます。協力は、話し合いで高まります。協力は、相手を理解することで深まります。協力は、自分を控（ひか）えめにすると、完成します。
6月	6月は「責任」の月です。「責任」は、見られることで実感できます。「責任」は、学校の外で自覚できます。「責任」は、相手を責めるのではなく、自分を振り返ることで理解できます。「責任」をとるということは、自分を変えることです。「責任」があるから、「夢」があります。夢は、「責任」から始まります。
7月	7月は「準備」の月です。「準備」は、振り返りから始まります。「準備」とは、計画を立てることです。何をやるのかがはっきりするからです。「準備」とは、その計画を実行することです。7月は、1学期を振り返り、夏休みと2学期の備える月にしましょう。
8月	8月は「見つめる」月です。(夏季休業中の自覚をしましょう) 普段できないこと、長期の休みしかできないことを実行し、「自分を見つめ、家族を見つめ、社会を見つめる」ことをしていきましょう。「見つめる」のは、自己であり、家族であり、社会全体や地球環境などです。
9月	9月は「意欲」の月です。「意欲」は、「目標」を持つことがスタートです。「目標」は、2種類です。短期の目標＝短い期間で達成できる目標 長期の目標＝長い期間（1年間、卒業まで等）で達成する目標。「意欲」は、「目標」を常に見ることで、持続します。「目標」を視覚化しておきましょう。
10月	10月は「本気」の月です。「本気」でするから、たいていのことはできる。「本気」でするから、何でもおもしろい。「本気」でしているから、だれかが助けてくれる。
11月	11月は「実り」の月。「実り」とは、これまでの歩みの足跡（あしあと）。「実り」とは、これまでのがんばりの結晶（けっしょう）。「実り」とは、結果ではなくて、「成果」。一人では、「実る」ことはできません。だれかの助けがあって「実り」ます。多くの人が支えてくれて、「実り」があります。

12月	1 2月は「おさめる月」。「おさめる」とは、次のようなことです。 修（おさ）める＝自分の行い、心などを整え直すこと。 治（おさ）める＝気持ちを落ち着かせること。 修（おさ）める＝学問や技術、習慣を身につけること。 収（おさ）める＝よい結果を生み出すこと。 納（おさ）める＝物事を終わらせること。
1月	1月は「決意」の月です。次の2つの決意を固めよう。 今学期、3学期の「決意」を固めよう。 今年の「決意」を固めよう。
2月	2月は「成長と可能性」の月です。振り返り、そして、未来を見つめよう。 「成長」とは、過去からの変化。 「可能性」とは、未来への変化。
3月	3月は「感謝」の月です。次の3つの「もの」に感謝しましょう・ 「物」に「感謝」。目に見える物、使用した物や場所、施設、設備に感謝。 「者」に「感謝」。お世話になった人たちに感謝。 「もの」に「感謝」。目に見えない「もの」。友情や協力、信頼、責任、意欲など、大切にしてきた「もの」に感謝。

(4) 今年度 (H31 年度) 教育業務の具体的改善内容

① 学校教育目標

- 各通信等にも、学校教育目標を題字脇等に盛り込み、浸透させていく取り組みが考えられる。

② 学級・学年経営

- 『若手』に限らず、実際に仕事の量・重さに違いはある。また、それぞれにやり方にも違いがあるので、できる限り分担し、そのフォローにまわる。押しつけや任せっぱなしがいけない。重要なのはお互いに配慮することだと思う。

③ 生徒指導

- 生徒指導面でのことを、教員間でコミュニケーションをとり、話題にしていく。

④ 教育相談

- 生徒指導面でのことを、教員間でコミュニケーションをとり、話題にしていく。

⑤ 校内研修

- 年度初めに、時間をかけて取り組むべき項目を精査し、年間計画に配置する。
- 教員への負担を減らせるよう、研修方法を見直す。
- 研修の成果として、先生方に還元される魅力ある研修を考える。

⑥ 人権教育

- 4月当初に、総合の時間で2時間続き（DVD視聴＋人権作文）という流れで、人権教育を行っていく。
- 11月～12月の「人権週間」で「DVDを視聴してから感想を書く」という流れで活動する。
- 教育相談部会とも連携した取組や活動をしていく。

⑦ 学習指導

- 引き続き実践するP D C Aサイクルの徹底。
- ◇ 教科横断的な指導を行う。(言語力/I C T)

⑧ 進路指導

- 1・2年保護者会で進路の話しをする、
- 学年便りで進路についての情報を伝えていく(今も行っているので、今まで以上に)など。

⑨ 道徳教育

- 計画を見直し、実施する
- 第12回職員会議資料p11を参考にする。

⑩ 特別活動(学級活動)

- できる範囲の中で計画的に行えるようにする。
- 横との連携を大切にしながら、先生方と協力をし、それぞれの先生方の良い部分を継承していく。

⑪ 特別活動(生徒会活動)

- 『飛翔』(生徒会新聞)については、日にちの限定ではなく「2週目明けの月曜」など、曜日等で設定していく。内容については、生徒会本部発足時に書く内容を決めておく。
- それぞれの目標などが多くあり、焦点が絞れなくなりつつあるので、年間活動テーマを設定せず、学校・学年・学級目標を基準にして、各クラスの行動目標を設定していく。(生徒総会にて)

⑫ 部活動

- 自信を持って指導できるようにしてきましょう。
- テスト前期間の鍵の扱いを丁寧にしましょう。

⑬ 保健指導

- 健康診断は、他の行事と重なったり、授業にご迷惑をおかけすることも多々あったと思う。D r等の都合もあるが、関連の先生方との連絡や調整をしっかりと行い、できるだけスムーズに進むよう努めたい。

⑭ 学校安全

- 点検表の配付・回収の流れを確立したい。

⑮ 給食・食育

- 良い状態を維持できるよう、今後も全職員で給食の指導に当たっていきたい。

⑩ ボランティア・福祉教育

- 現状学校全体でボランティア活動を行うことは難しいので、来年度も今年度同様一部の募集をかけて行っていく。

⑪ 清掃・環境教育

- 美化活動を生徒全般に広がるように、美化意識を拡大する。
- 教職員間の引き継ぎを、学年、担当を超えて考える。
- 環境（掲示や緑化）の分掌を分ける。（清掃活動で手一杯）

⑫ 家庭・地域との連携

- 入学してくる6年生の情報を共有する機会を作る必要がある。（個人）
- 小中連絡会（年度末）等で、新入生の情報を深く掘り下げ、紙面に載らない部分を旧担任から引き出し、今後の指導に生かしていく必要がある。その際、小学校次の子供と担任との「合う・合わない」を念頭に置き、中立・冷静な立場での判断を心がけたい。
- 各学校行事等でPTA・学校応援団の活動は活発に行われている。負担過剰とならないよう、今後も継続していきたい。

⑬ 東中の特色

【施設設備】校舎がきれい。／きれいな校舎、過ごしやすい環境。／落ち着いて学べる環境（新校舎、学校の雰囲気）。／落ち着いた学習環境・学校がきれいに保たれている。

【生徒の様子】生徒が様々な活動に積極的に取り組んでいること。／他の意見を素直に受け止め、自分のために生かそうとする心を持った生徒が多い。／人を思いやれる。挨拶が出来る。／生徒が基本的に素直。指示がとおる。／素直な生徒が多い。／生徒の素直さ。／生活に落ち着きがある。／落ち着いて生活できている。物や人を大切にしている。／素直さ、まじめ。／規律のある学習・生活ができ、積極的な生徒が多くいる。／挨拶が良く出来る。給食を残さない。

【学校運営】部活動が盛ん。／生徒のことを第一に考えた教育活動が行われてきた。

【その他】教員の個性。／視野が広く、開けていること。教師と生徒の信頼関係がある。

【学習面】学習・学力向上。／模擬授業研修を取り入れていけたら…と思っています。まず、もっと、授業に力を入れる。（授業準備に時間をかけられるようにする。）教科等横断的なカリキュラムマネジメント。

【生徒指導面】学校の荒れを感じ始めた時の、初動の確認、方針の統一、共通理解など。リーダーとなる生徒の育成。／挨拶等、仲間、先生には良くするが、それが外部や表彰の返事に生かされていないのが残念。／生徒のことを第一に考えた教育活動が行われてきたことを、今後も意識、継続させていく。／呼ばれて返事ができないのは課題である。先生の事前の準備や声かけが必要である。／平素の清掃指導の充実。

【学校運営】雑務を極力減らすこと。／学年を超えた、学校全体の交流が増えればいい（コミュニケーション）／学校の地域貢献。生徒がもっと主体的に活動できる環境や体制。生徒指導ができる部屋の確保。／チームで目標を明確にしていき、事後の振り返りをする。